

第6回日本体力医学会北九州地方会のご案内

会員の皆様

平素より大変お世話になっております。第6回日本体力医学会北九州地方会学術集会を以下の通り開催いたします。今回は、古くて新しい研究テーマ『運動強度』にフォーカスします。参加者の皆様にとって、『運動処方における至適強度に関する情報整理』ならびに『今後の研究や運動処方を考える契機』となれば幸いです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ：運動強度を考える

日時：6月21日（土）13時00分～16時00分

会場：オンライン開催（Zoomによるリアルタイム開催・オンデマンドなし）

参加費：無料 会員以外（大学院生・学部生など）も無料で参加可能

会長：川中健太郎（福岡大学スポーツ科学部）

【プログラム】

1. 開会挨拶（13:00～13:05） 川中健太郎（福岡大学スポーツ科学部）
2. 特別講演（13:05～13:55）
タバタトレーニングとそれから派生したタバタクロストレーニング
演者：田畑泉（立命館大学スポーツ科学部）
3. シンポジウム（14:00～15:30）
座長 道下竜馬（福岡大学スポーツ科学部）
支援現場における運動処方と運動強度の現状と課題（14:00～14:30）
演者：松原建史（健康科学研究所）
運動強度の観点から運動と腎機能の関係を考察する（14:30～15:00）
演者：川上翔太郎（富山県立大学）
運動強度と脳機能：効果と実践のバランスから考える（15:00～15:30）
演者：兵頭和樹（公益財団法人明治安田厚生事業団 体力医学研究所）
4. 総合討論（質疑応答・ディスカッション）（15:30～15:55）
5. 閉会挨拶（15:55～16:00）

【参加要領】

学術集会にアクセスする URL などの情報をお送りしますので、事前の参加登録をお願いします。以下のリンクからお申し込みください。

◆ 参加申し込み:

<https://forms.gle/kXyFGvYrhp7e2wT37>



◆ 参加登録期限：2025年6月16日（月）17：00

※登録期限後、事前にアドレスを送付しますので当日の参加登録はできません。

◆ お問い合わせ先：

福岡大学スポーツ科学部 富賀 裕貴

メールアドレス：tairyokukita6@gmail.com

【演者のプロフィール】

田畑泉

鹿屋体育大学、国立健康・栄養研究所を経て立命館大学スポーツ健康科学部特命教員（教授）。身体活動・運動・トレーニングによる健康増進およびスポーツ競技力向上に関する研究を行い、最近では、特にタバタトレーニングを含む高強度・短時間・間欠的運動トレーニングに関する研究を行っている。

松原建史

スポーツ健康学博士。福岡大学運動生理学研究室で学んだニコニコペース運動を柱に社会貢献を志している。(株)健康科学研究所に入社し、現在に至る（取締役）。現場支援の傍ら、現場のデータをまとめ学会や論文発表を行うことで支援現場の改善を目指している。

川上 翔太郎

福岡大学スポーツ科学部卒・博士（スポーツ健康科学）。福岡大学筑紫病院リハビリテーション部、福岡大学スポーツ科学部助教を経て、2024年より現職。健康運動指導士、心臓リハビリテーション指導士、腎臓リハビリテーション指導士の資格を有し、心疾患患者や腎疾患患者に対する運動効果の検証、特に腎機能改善に効果的な運動プログラム構築のために、日々研究活動に勤しんでいる。

兵頭和樹

筑波大学大学院人間総合科学研究科体育科学専攻で体育科学の博士号を取得後、明治安田厚生事業団体力医学研究所の研究員として活動。高齢者を対象に、運動が認知機能に与える効果や、その背景にある脳内機構を、光脳機能イメージング装置を用いて研究している。また、八王子市と共同で、軽運動の地域社会への実装効果に関する研究にも携わり、基礎研究から社会実装研究まで幅広く取り組んでいる。